

国土交通省が発注の土木工事の情報を2025年度上期の動向を最新の公告から集計  
さらに2024年度までの開札データから落札額、土量の分析で充実の内容に!

## 『i-Construction最新動向レポート 2025年度上期版』



多彩な用途でご利用になれます

- ・ICT活用工事の最新の状況把握
- ・経営企画の計画資料
- ・今後の受注見込みの目安
- ・営業の結果の分析や比較



現在の営業・方針の確認、照らし合わせ  
未来を予測して計画に組み込むことができる

### 価格

120,000円（税別）

【納品形式】PDF

ご料金をお振込みいただき弊社にて確認後メールにて納品いたします。

※既刊 2019総括版、2020年度～2024年度まで各年度上期版・総括版有り

※D-NETご契約会社様は割引の価格となります。

ご契約ご検討の方はお申し出ください。

### 内容

#### 【第1部 2025年上期のICT工事の件数動向】

- ・工事件数と推移
- ・ICT活用工事件数と推移
- ・地方整備局別件数
- ・工事都道府県別件数
- ・発注方式別件数など

#### 【第2部 落札額と土量で見る開札の傾向】(2024年度までの開札情報)

- ・落札額の推移
- ・落札額の推移(一般土木工事)
- ・落札額の推移 一般土木工事における入札参加資格者等級別
- ・土量の推移
- ・掘削工事の推移
- ・土量1m<sup>3</sup>当たりの金額 など

### お問合せ

<https://www.bic-net.jp/dn-inquiry/>

QRコードの読み取りからでもアクセスできます

#### 【お問合せ先】

ベーシックインフォメーションセンター(株)

東京都千代田東神田2-6-2タカラビル5F

データサービスグループ 片岡

TEL:03-3864-6351

メール:kataoka@bic-net.com

URL:<https://www.bic-net.jp/d-net/>



# 『i-Construction最新動向レポート 2025年度上期版』イメージ

## 内容

### 【第1部 2025年上期のICT工事の件数動向】

工事件数と推移 ・ICT活用工事件数と推移 ・地方整備局別件数 ・工事都道府県別件数 ・発注方式別件数など

### 【第2部 落札額と土量で見る開札の傾向】(2024年度までの開札情報)

・落札額の推移 ・落札額の推移(一般土木工事) ・落札額の推移 一般土木工事における入札参加資格者等級別  
・土量の推移 ・掘削工事の推移 ・土量1m<sup>3</sup>当たりの金額 など

#### 工事件数の動向



D-NET配信データにおける上期年度別件数

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
2,474	2,152	2,069	2,158	2,091

過去5年度での件数動向になる。2021年度から2022年度にかけて減少して以降、一定の水準を保っている。  
減少の要因の一例ではあるが、2024年度は2024年1月に発生した「令和6年能登半島地震」による  
工事発注が落ちついたことが挙げられる。(詳細は地区別集計の項にて)

2025年度上期のICT活用以外の工事も含む工事全件の公告件数は  
2,091件となった。2024年度上期の2,158件より僅かに減少。

10

#### ICT工事の推移



■ICT工事年度全体件数  
■ICT工事上期件数



Confidential

#### お問合せはこちら

<https://www.bic-net.jp/dn-inquiry/>

QRコードの読み取りからでもアクセスでき  
ます



#### 落札額の推移



件数	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	件数	落札額(円)	件数	落札額(円)	件数	落札額(円)	件数	落札額(円)	件数	落札額(円)
合計	1兆6,613億7,040万円	1兆2,722億36,326万円	1兆1,556億2,540万円	1兆2,350億2,475万円	1兆2,152億7,435万円					
1件当たりの金額	6,449	5,432	5,035	5,065	5,203	2,285	3,517	3,572	3,572	3,572
条件										
各年度に公告された開札済み工事										
工事種別:D-NET対象工事の全て										
2020年度の件数は落札件数でないが、1件当たり金額に平均すると約2億4,000万円となり以下の年度で約2,000万円増加する。 以降は約2,000万円前後で増減して推移している。										
過去5年で2022年度が件数・落札額ともに多いところである。										

Confidential

29

#### 土量の推移



※公告文書の工事内容から抜粋した数値がベースです。発注機関・事務所により数値開きの有無があり、数値の記載がなかったものを集計しております。  
※初回土量は取得数値が少ないため割愛しております。

条件	件数		盛土土量(m <sup>3</sup> )		削除土量(m <sup>3</sup> )		削削土量(m <sup>3</sup> )			
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
A	75	71	66							
B	394	331	284							
C	4,045	3,292	3,046	3,903	2,952	1,078	1,170	1,117	711	472
D	266	239	226	103	20	117	105	123	1	5
合計	4,780	4,033	3,622	3,903	2,952	1,078	1,170	1,117	711	472
条件										
各年度に公告された開札済み工事										
工事種別:D-NET対象工事の全て										
2020年度の工事件数が多いのは先述の通りであるので、単純な合計数の多さではない。 ただ2021年度以降において各土量とともに減少傾向がかかる。 また、2021年度開札された工事の中でも、削削土量が大幅に大きくなり、削削の規模の大きい基盤工事があったためである。										

32

#### 【お問合せ先】

ペーシックインフォメーションセンター(株)

〒101-0031

東京都千代田区神田2-6-2タカラビル5F

担当:データサービスグループ 片岡

TEL:03-3864-6351

メール:kataoka@bic-net.com

URL:<https://www.bic-net.jp/d-net/>